

# 桑名市の高齢者を取り巻く現状

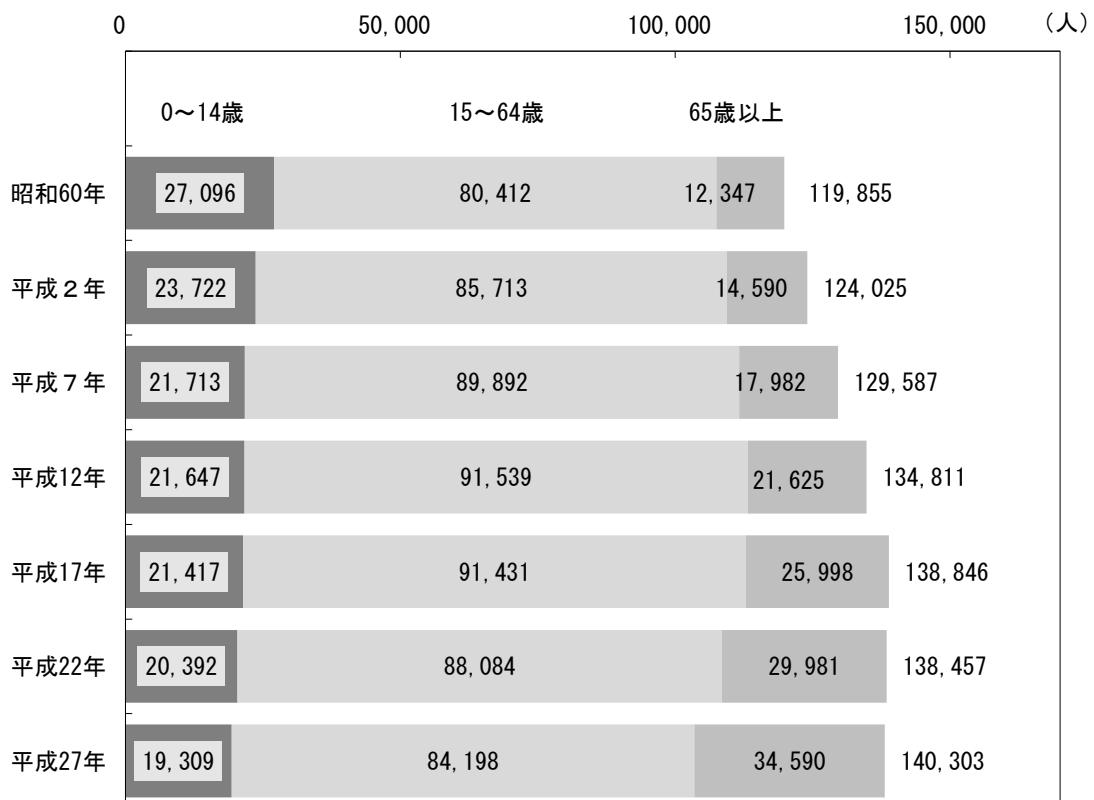
## 1 人口の現状

### (1) 人口の推移

平成27年10月1日現在、本市の総人口は140,303人です。人口の推移をみると、昭和60年から平成27年の30年間に2万人以上増加しています。特に平成17年までが大幅に増加しており、以降は若干の増加傾向を示しながら横ばいに推移しています。

年少人口（0～14歳）は昭和60年以降減少しています。生産年齢人口（15～64歳）は平成12年をピークに減少しています。高齢者人口（65歳以上）は昭和60年から平成27年の30年間に22,243人増加し、約2.8倍となっています。同期間の総人口の増加が約1.2倍なので、著しく高齢者人口が増加していることがわかります。

図表1-1 人口の推移



注：総人口には年齢不詳が含まれます。

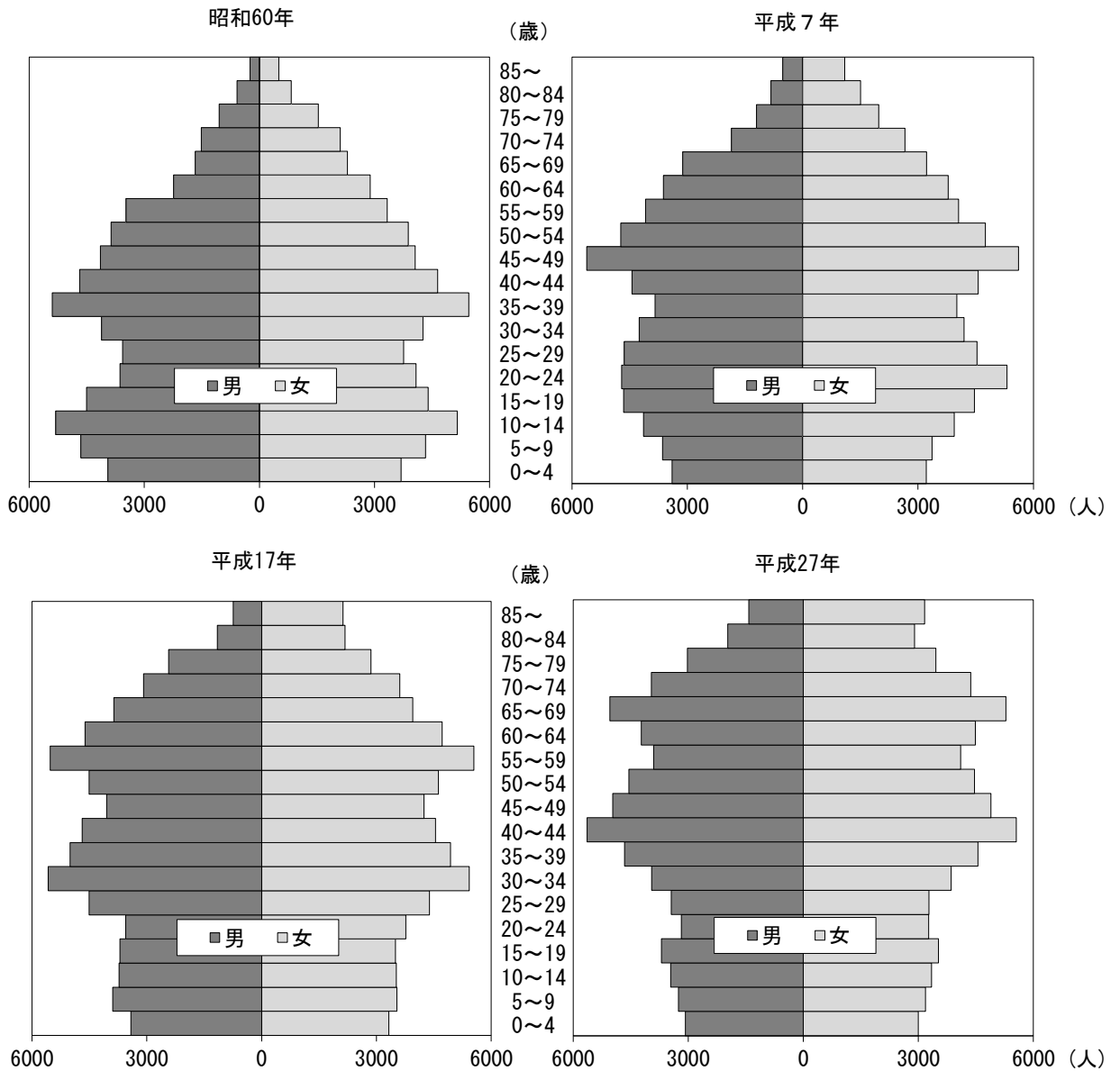
資料：国勢調査

(2) 人口ピラミッド

図表1-2は、昭和60年～平成27年の本市の男女別5歳年齢階級別人口（人口ピラミッド）の推移を10年ごとにみたものです。

団塊世代およびその子ども世代を含む年齢層の膨らみが上部に移動するとともに長寿化の進展により、底部に対し頭部が大きな不安定な胴型に変わってきています。

図表1-2 人口ピラミッド



資料：国勢調査

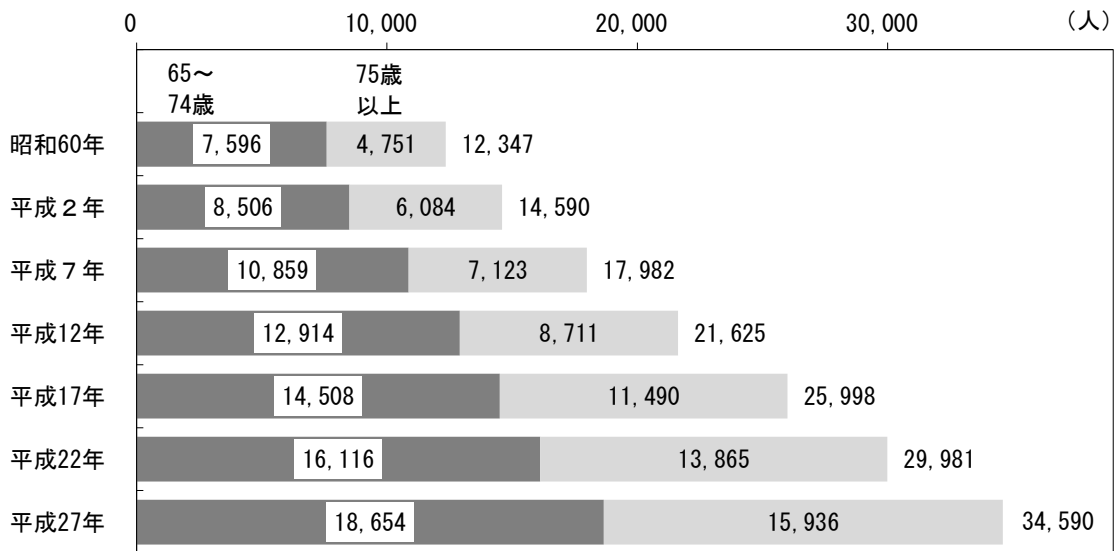
(3) 高齢者人口の推移

本市の高齢者人口（65歳以上人口）は平成27年10月1日現在、34,590人で、65～74歳の前期高齢者は18,654人、75歳以上の後期高齢者は15,936人です。

昭和60年から平成27年の推移をみると、65～74歳が11,058人の増加で約2.5倍、75歳以上が11,185人の増加で約3.4倍と、特に介護リスクに高い75歳以上が著しく増加しています（図表1-3）。

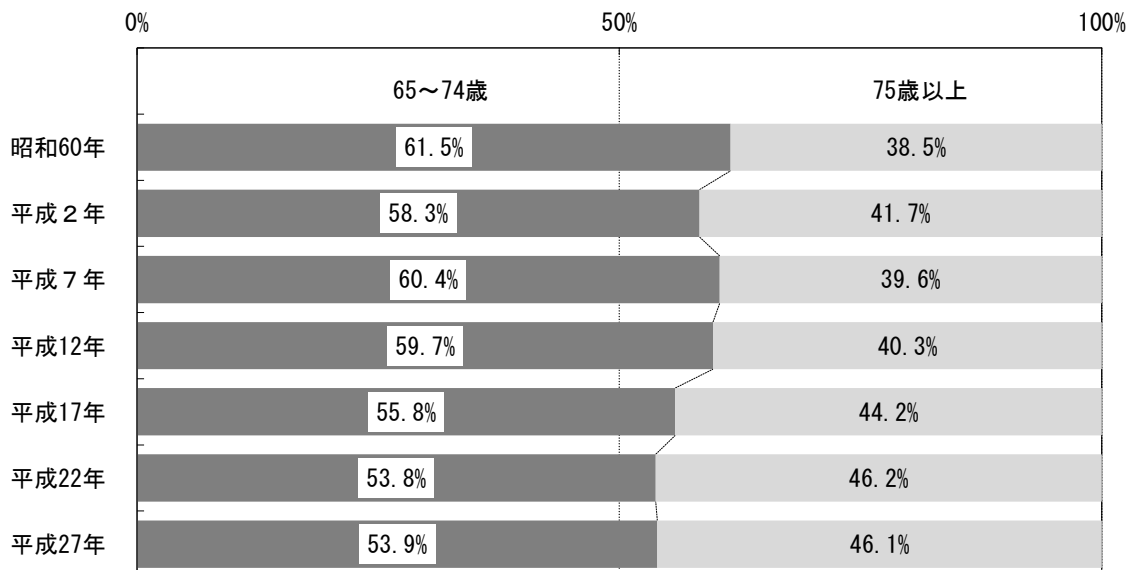
65～74歳人口と75歳以上人口の構成比率の推移をみると、長寿化の進展により、75歳以上の比率が上昇し、65～74歳の比率が低下する傾向にあります（図表1-4）。

図表 1-3 高齢者人口の推移



資料：国勢調査

図表 1-4 65～74歳と75歳以上人口の構成比の推移

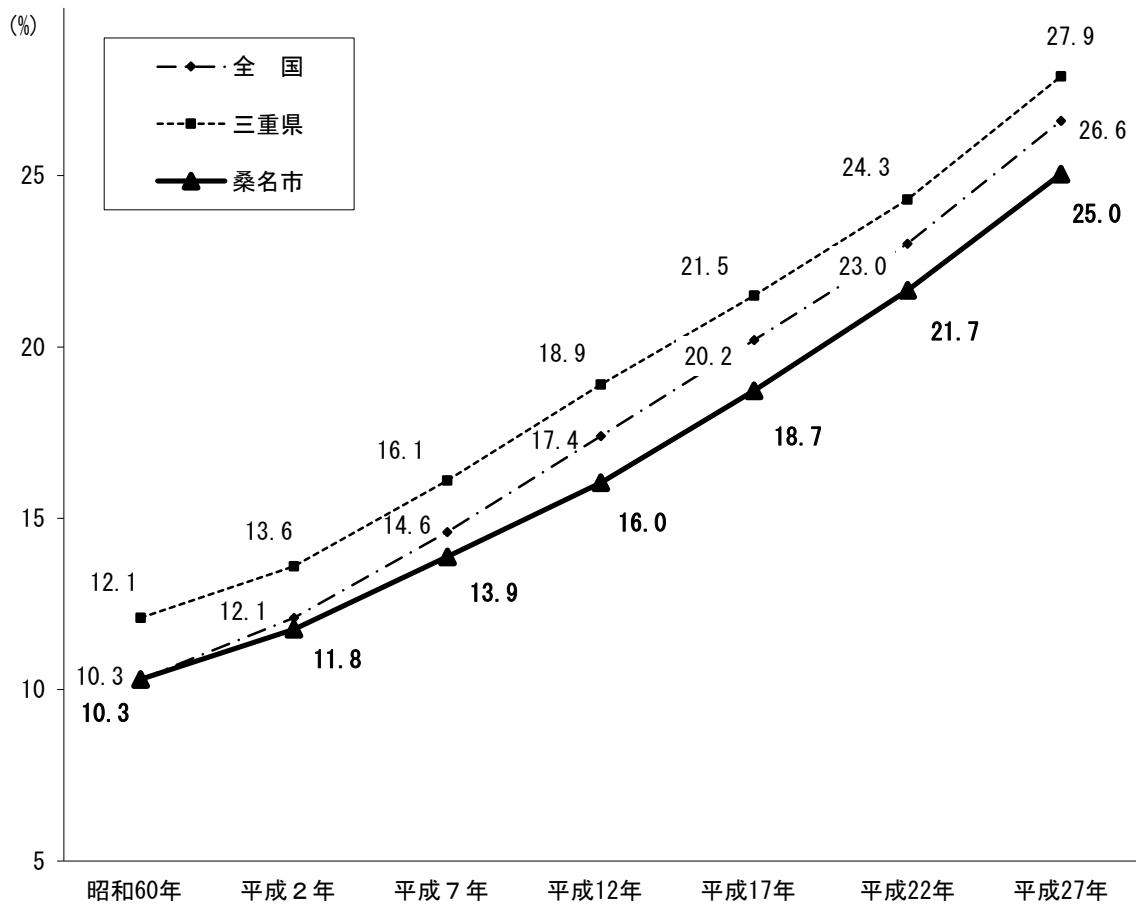


資料：国勢調査

#### (4) 高齢化率の推移

本市の高齢化率は、平成27年10月1日現在、25.0%です。全国および三重県と比較すると、県を2.9ポイント、全国を1.6ポイント下回っていますが、右肩上がりに推移しているのは同様です。

図表 1-5 高齢化率の推移



資料：国勢調査

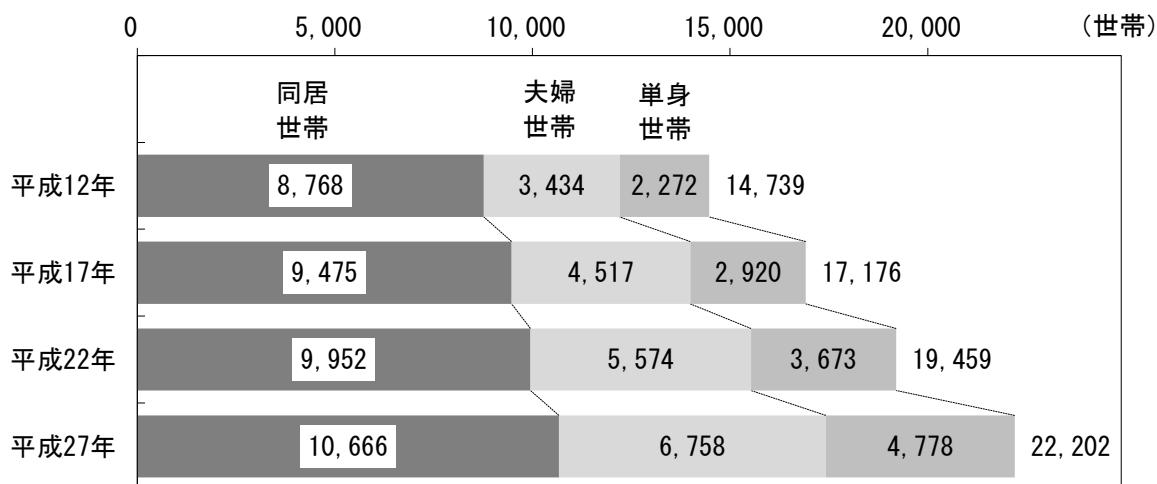
## 2 世帯の現状

### (1) 高齢者のいる世帯の状況

本市の高齢者のいる世帯は、平成27年の国勢調査によると22,202世帯となっており、平成12年から15年間で7,463世帯増加し、約1.5倍になっています。世帯類型別にみると、高齢夫婦世帯（夫65歳以上、妻60歳以上の夫婦1組のみの一般世帯）は3,324世帯増加で約2.0倍、高齢単身世帯は2,506世帯増加で約2.1倍になっています（図表2-1）。

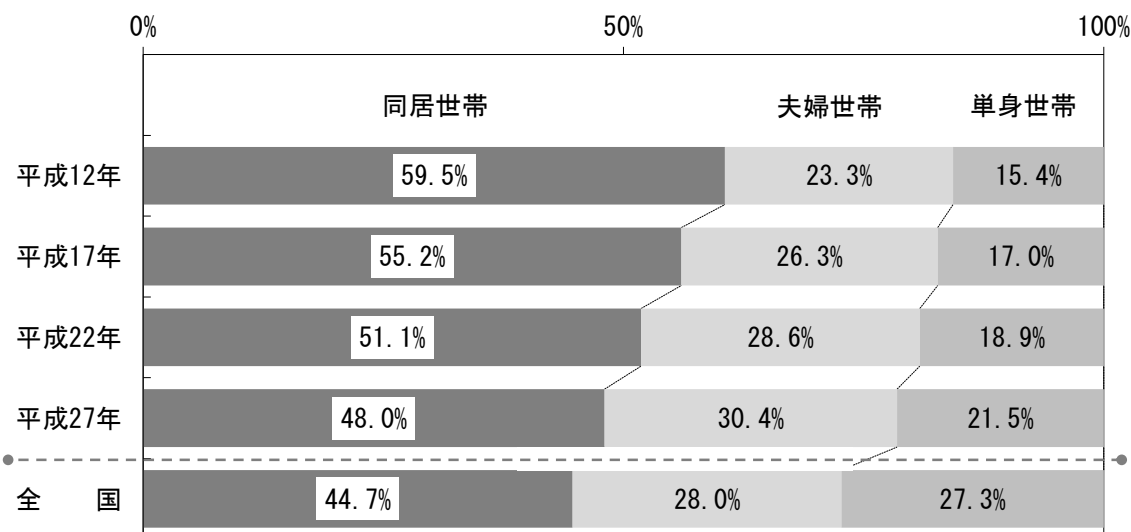
比率で見ると、夫婦世帯および単身世帯が高くなる一方、高齢者以外の家族との同居世帯は低下しています。また、全国に比べ単身世帯の比率は低いものの、夫婦世帯の割合が2.4ポイント高くなっています（図表2-2）。

図表2-1 高齢者のいる世帯の推移



資料：国勢調査

図表2-2 高齢者のいる世帯の類型割合の推移



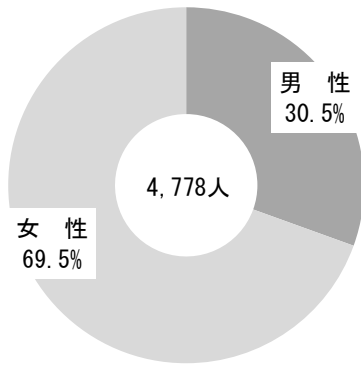
資料：国勢調査

(2) 高齢単身世帯

高齢単身世帯は女性が69.5%を占めています（図表2.3）。

年齢別では65～69歳が21.9%と最も高くなっていますが、75歳以上の合計は56.4%にのぼります（図表2-4）。

図表 2-3 高齢者単身世帯の性別



図表 2-4 高齢単身世帯の性・年齢別

単位：人

区分	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上	計
計	1,044	1,037	956	967	774	4,778
	21.9%	21.7%	20.0%	20.2%	16.2%	100.0%
男性	480	365	239	201	173	1,458
女性	564	672	717	766	601	3,320

資料：国勢調査（平成27年）

(3) 高齢夫婦世帯

高齢夫婦世帯を夫婦の年齢別にみると、夫婦ともに75歳未満の世帯が57.1%（3,857世帯）を占めていますが、夫婦ともに75歳以上の世帯が24.4%（1,649世帯）あります。

図表 2-5 高齢者夫婦世帯

単位：人

区分	妻						計	
	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上		
夫	65～69歳	919	952	87	11	1	1,970	
	70～74歳	137	1,135	627	51	7	3	1,960
	75～79歳	12	155	872	437	36	5	1,517
	80～84歳	2	6	120	464	240	22	854
	85歳以上	1	2	9	53	246	146	457
	計	1071	2,250	1,715	1,016	530	176	6,758

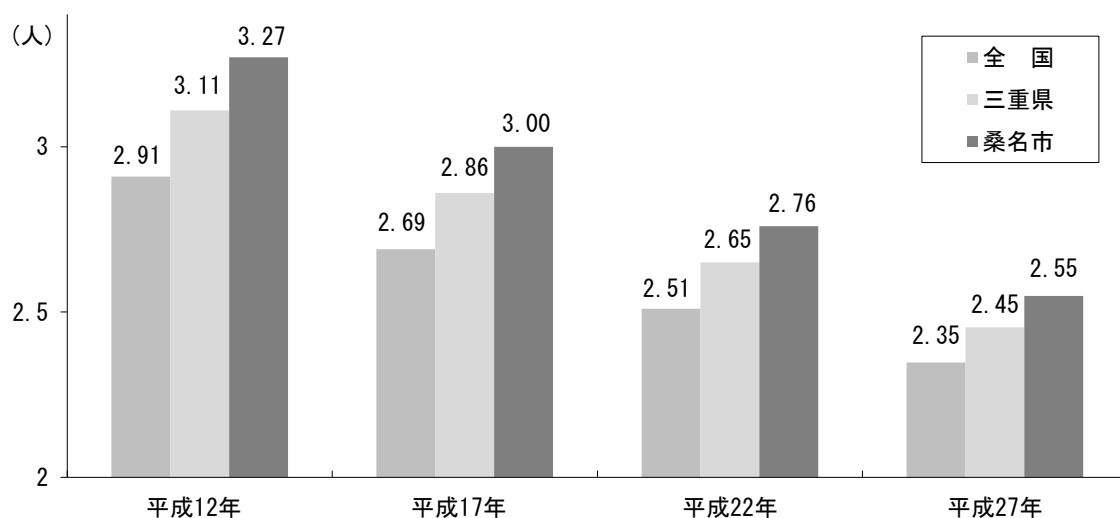
区分	妻		計	
	65～74歳	75歳以上		
夫	65～74歳	3,857 (57.1%)	73 (1.1%)	3,930 (58.2%)
	75歳以上	1,179 (17.4%)	1,649 (24.4%)	2,828 (41.8%)
	計	5,036 (74.5%)	1,722 (25.5%)	6,758 (100.0%)

資料：国勢調査（平成27年）

#### (4) 高齢者のいる世帯の平均世帯人員

本市の高齢者のいる世帯の平均世帯人員は、平成27年では2.55人となっており、国（2.35人）および県（2.45人）を上回っています。平成12年以降の推移みると、世帯規模は縮小しており、高齢夫婦世帯および高齢単身世帯の増加からわかるように、今後この傾向は続くことが予測され、家庭における介護力の低下は否めません。

図表 2-6 高齢者のいる世帯の平均世帯人員の推移

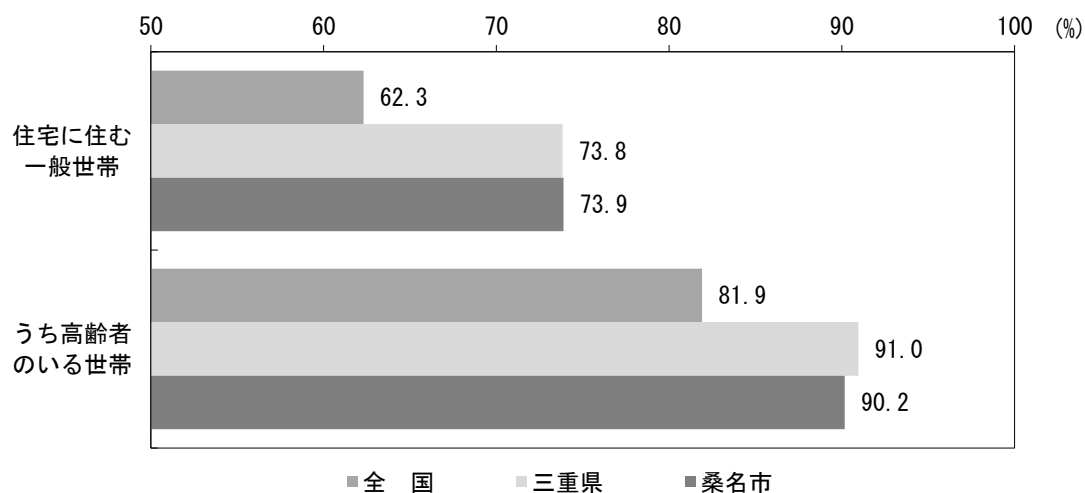


資料：国勢調査

#### (5) 住宅の状況（持ち家率）

本市の高齢者のいる世帯の持ち家率は90.2%となっており、一般世帯の持ち家率を15ポイント以上上回っています。また、本市は三重県を若干下回っていますが、国には8.3ポイント上回っています。

図表 2-7 持ち家率



資料：国勢調査（平成27年）

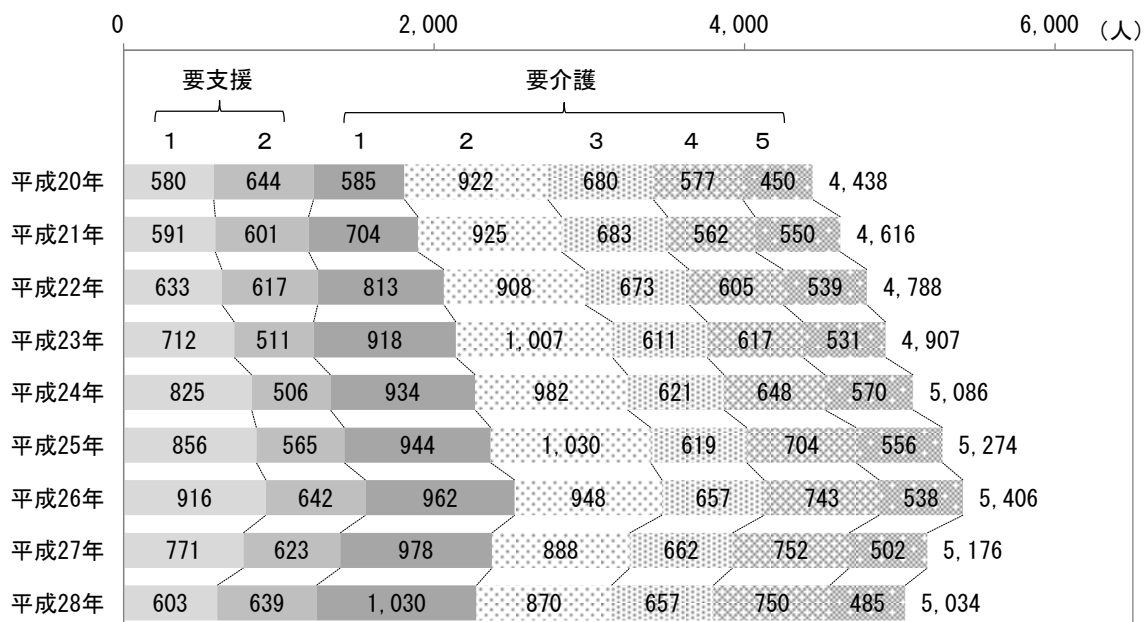
### 3 要支援・要介護認定者の現状

#### (1) 認定者数の推移

平成28年9月末現在、要支援・要介護認定者数は5,034人です。平成26年までは右肩上がりに増加していましたが、以降、減少傾向にあります。要介護度別にみると、要支援1、要介護2および要介護5は平成26年をピークに明らかに減少していますが、要介護1は年々増加しています。

平成28年9月末現在の要介護度別の認定者数と認定率をみると、65歳以上の第1号被保険者の認定者は4,925人、第1号被保険者の13.8%にあたります。また、75歳以上の認定者の割合は26.5%と、75歳以上の4人に1人以上が認定者となっています。

図表3-1 認定者数の推移



資料：介護保険事業状況報告（各年9月末現在）

図表3-2 要支援・要介護認定者数

区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
第1号被保険者	596	612	1,015	852	637	743	470	4,925
	1.7%	1.7%	2.9%	2.4%	1.8%	2.1%	1.3%	13.8%
65～74歳	74	76	73	91	72	79	59	524
	0.4%	0.4%	0.4%	0.5%	0.4%	0.4%	0.3%	2.8%
75歳以上	522	536	942	761	565	664	411	4,401
	3.1%	3.2%	5.7%	4.6%	3.4%	4.0%	2.5%	26.5%
第2号被保険者	7	27	15	18	20	7	15	109
計	603	639	1,030	870	657	750	485	5,034

注：下段は各人口に対する割合（第1号被保険者数=35,571人、65～74歳=18,936人、75歳以上=16,635人）

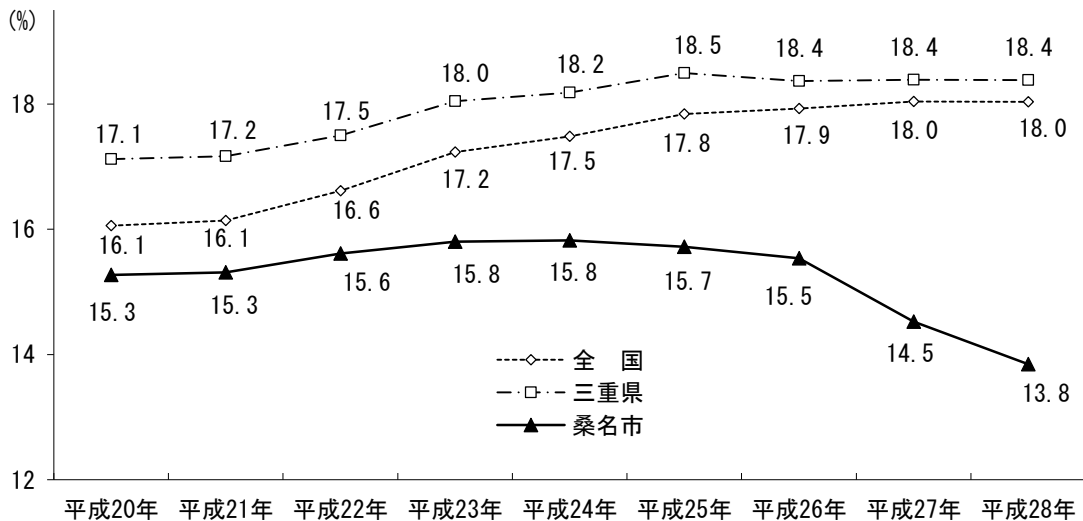
資料：介護保険事業状況報告（平成28年9月末）



(2) 要支援・要介護認定率の推移

第1号被保険者数に対する65歳以上の認定者数の割合（認定率）の推移をみると、平成24年以降低下傾向にあり、平成28年9月末現在、13.8%で、全国、県平均より4ポイント以上低い率となっています。

図表3-4 要支援・要介護認定率の推移



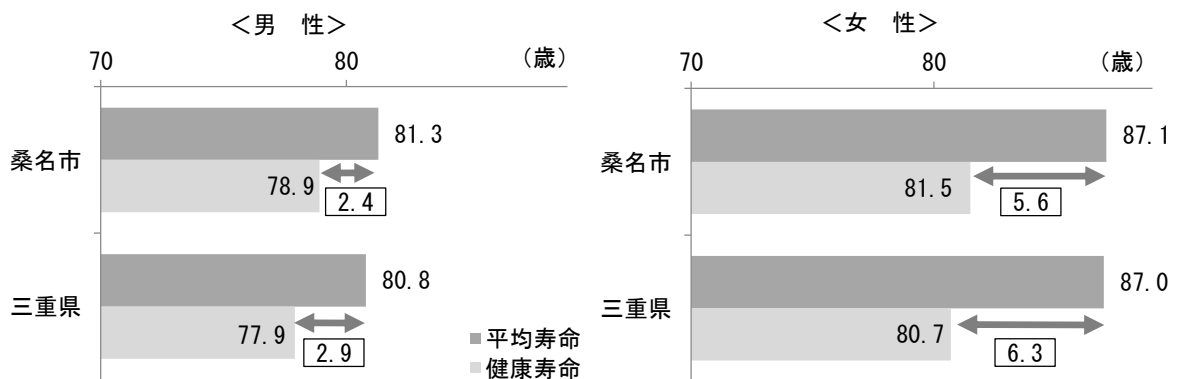
資料：介護保険事業状況報告（各年9月末）

(3) 平均寿命・健康寿命

三重県の推計によると、本市の平均寿命は、男性が81.3歳、女性が87.1歳、健康寿命は、男性が78.9歳、女性が81.5歳といずれも県に比べ長くなっています。

平均寿命と健康寿命の差は、日常生活に制限のある「不健康な期間」を意味しますが、本市は、男性が2.4年、女性が5.6年です。今後、平均寿命の延伸に伴い、健康寿命との差が拡大すれば、介護給付費の多くを使う期間が長期化することになります。

図表3-5 Chiang法による平均寿命とSullivan法による健康寿命(平成27年)



資料：みえの健康指標・健康寿命（三重県健康づくり課）

## 4 介護保険給付費の現状

### (1) 第1号被保険者1人あたり給付費

桑名市における平成28年の第1号被保険者1人あたり給付費（月額）は、在宅サービス、施設・居住系サービスともに全国、三重県より低くなっています。

なお、参考まで平成26年のデータではありますが、「第1号被保険者の性・年齢構成」や「地域区分別単価」の影響を除外した給付月額では、在宅サービスは全国より高く県より低く、施設・居住系サービスは全国、三重県より低くなっています。

図表4-1 第1号被保険者1人あたり給付費の状況（全国・県との比較）

単位：円

区 分		合 計	在宅サービス	施設・居住系サービス
第1号被保険者1人 あたり給付費 (平成28年)	全 国	21,295	11,462	9,833
	三重県	22,436	12,387	10,049
	<b>桑名市</b>	<b>18,682</b>	<b>10,165</b>	<b>8,517</b>
調整済み第1号被保 険者1人あたり 給付費 (平成26年)	全 国	20,168	10,566	9,602
	三重県	21,013	11,427	9,586
	<b>桑名市</b>	<b>20,520</b>	<b>11,179</b>	<b>9,341</b>

注：「調整済み第1号被保険者1人あたり給付月額」とは給付費の多寡に大きな影響を及ぼす、「第1号被保険者の性・年齢構成」と「地域区分別単価」の影響を除外した給付月額

資料：地域包括ケア「見える化」システム（平成29年5月2日取得）

### (2) サービス別にみた第1号被保険者1人あたり給付費

サービス別に平成28年の第1号被保険者1人あたり給付月額をみると、定期巡回・随時対応型訪問介護看護を除く地域密着型サービスおよび介護老人保健施設（老健）が全国、三重県より高くなっています。一方、給付額が少ないのは、訪問介護、訪問看護等の訪問系サービスや介護老人福祉施設（特養）などです。

なお、参考まで平成26年のデータではありますが、「第1号被保険者の性・年齢構成」や「地域区分別単価」の影響を除外した給付月額では、通所介護は全国、三重県を大きく上回っています。

図表 4-2 第 1 号被保険者 1 人あたり給付月額

単位：円

区 分	区 分	全 国	三 重 県	桑 名 市
第 1 号被保険者 1 人あたり給付 月額 (平成28年)	訪問介護	2,028	1,830	991
	訪問入浴介護	120	98	50
	訪問看護	503	412	256
	訪問リハビリテーション	89	117	55
	居宅療養管理指導	194	76	106
	通所介護	3,051	3,896	3,460
	通所リハビリテーション	1,049	1,051	706
	短期入所生活介護	867	1,299	881
	短期入所療養介護	126	123	74
	福祉用具貸与	654	650	485
	特定福祉用具販売	34	30	24
	住宅改修	101	124	96
	特定施設入居者生活介護	1,039	676	487
	介護予防支援・居宅介護支援	1,186	1,286	947
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	60	15	21
	小規模多機能型居宅介護	489	360	520
	看護小規模多機能型居宅介護	36	24	150
	地域密着型通所介護	847	1,075	1,310
	認知症対応型通所介護	191	134	295
	認知症対応型共同生活介護	1,365	1,097	1,431
	地域密着型特定施設入居者生活介護	36	44	262
	地域密着型介護老人福祉施設	369	436	622
	介護老人福祉施設（特養）	3,692	4,036	1,871
介護老人保健施設（老健）	2,743	3,241	3,362	
介護療養型医療施設	589	519	482	
調整済み第 1 号 被保険者 1 人あ たり給付月額 (平成26年) (地域包括ケア「見え る化」システムに掲載 されたサービスのみ)	訪問介護	1,916	1,698	990
	訪問看護	411	352	232
	通所介護	3,533	4,481	5,340
	通所リハビリテーション	1,010	1,017	835
	短期入所生活介護	890	1,305	1,035
	福祉用具貸与	587	580	532
	特定施設入居者生活介護	979	585	479
	認知症対応型共同生活介護	1,337	1,086	1,659
	地域密着型介護老人福祉施設	305	369	566
	介護老人福祉施設（特養）	3,606	3,830	2,182
	介護老人保健施設（老健）	2,705	3,064	3,589
	介護療養型医療施設	636	607	567

注：「調整済み第 1 号被保険者 1 人あたり給付月額」とは給付費の多寡に大きな影響を及ぼす、「第 1 号被  
保険者の性・年齢構成」と「地域区分別単価」の影響を除外した給付月額

資料：地域包括ケア「見える化」システム（平成 29 年 5 月 2 日取得）